

様式第11号

障害補償一時金請求書  
 障害特別支給金申請書  
 障害特別援護金申請書  
 障害特別給付金申請書

1号紙

地方公務員災害補償基金 北海道 支部長 殿 下記の障害補償一時金 〔障害特別支給金〕 〔障害特別援護金〕 〔障害特別給付金〕 を 請求（申請）します。		認定番号		
請求（申請）年月日 年 月 日 請求（申請）者の住所 フリガナ 氏 名				
1 関 被 す 災 る 職 事 員 項 に	所属団体名	フリガナ 氏 名		
	所属部局名	年 月 日生（ 歳）		
	職 名 <input type="checkbox"/> 常 勤 <input type="checkbox"/> 令第1条職員	負傷又は発病の年月日 年 月 日 治癒年月日 年 月 日		
2 障害の部位及びその程度				
3 既存障害とその程度				
4 障害等級	第 級 第 号			
5 障害補償一時金請求金額	〔船員の場合〕 (平均給与額) (日数(ア)) (平均給与額) (日数(イ)) 円 × + ( 円 × ) = 円			
6 障害特別支給金 申請金額等 障害特別援護金	障害特別支給金 円 障害特別援護金 円	傷病特別支給金の受給の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
7 障害特別給付金 申請金額の計算	〔船員の場合〕 (平均給与額) (日数(ア)) (平均給与額) (日数(イ)) (A) { 円 × + ( 円 × ) } × $\frac{20}{100}$ = 円			
	(日数(ア)) (B) 1,500,000 円 × $\frac{\quad}{365}$ = 円			
8 障害特別給付金申請金額	円			
9 送 金 希 望 口 座 等	<input type="checkbox"/> 公金受取口座を利用する			
	個人番号			
	<input type="checkbox"/> 任意の口座を指定する 金融機関名 本支店等名 口座種別 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 口座番号 口座名義人 氏名(フリガナ)			
<input type="checkbox"/> その他				
* 受理 (到達した年月日)	所属部局 年 月 日	任命権者 年 月 日	基金支部 年 月 日	
* 決定金額	一時金	法第30条の制限 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 円	* 障害等級	第 級 第 号
	特別支給金	円	* 通知	年 月 日
	特別援護金	円	* 支払	年 月 日
	特別給付金	円		
	合計	円		

〔注意事項〕裏面参照。

〔注意事項〕

- 1 請求（申請）者は、\*印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入すること。
- 2 「3 既存障害とその程度」の欄は、新たに既存の障害の程度を加重した場合にのみ記入するものとし、既存障害について障害補償を支給された場合は、その該当する障害等級を明記すること。
- 3 「5 障害補償一時金請求金額」の欄の「（日数（ア））」には、障害等級に応ずる地方公務員災害補償法（昭和42年法律第121号）第29条第4項に掲げる日数を、「（日数（イ））」には、障害等級に応ずる地方公務員災害補償法施行令（昭和42年政令第274号。以下「令」という。）第7条各号に掲げる日数を、それぞれ記入すること。
- 4 「6 障害特別支給金  
申請金額等」の欄の「傷病特別支給金の受給の有無」は、同一の傷病に係る傷病特別支給金についての受給  
障害特別援護金  
の有無を選択すること。
- 5 「7 障害特別給付金申請金額の計算」の欄の「（日数（ア））」及び「（日数（イ））」は、3の例により記入すること。なお、令第1条に規定する職員に係るこの欄の記入については、別に定めるところによること。
- 6 「8 障害特別給付金申請金額」の欄には、「7 障害特別給付金申請金額の計算」の欄の（A）の金額（（A）の金額が（B）の金額を超える場合には、（B）の金額）を記入すること。
- 7 「9 送金希望口座等」の欄は、公金受取口座への送金を希望する場合は、送金先金融機関名等の口座登録情報を記入する必要はないこと。
- 8 「平均給与額算定書（2号紙）」には、この請求に係る平均給与額についての算定内訳を記入すること。
- 9 この請求書には、治癒の時期の決定及び障害等級の決定に必要な医師の診断書、X線写真その他の資料を添付すること。
- 10 年月日の記載には元号を用いる。